

薩摩志士の会 時局講演会

民族派右翼の思想と行動に迫る

【基 調 講 演】

第一部「戦後における大衆の不敬発言と

言論の自由・公共の福祉・公序良俗を考える」

講師 松田晃平 氏

＜経歴＞

平成 3 年 8 月 24 日、三重県津市生まれ。平成 22 年、三重高等学校卒業。生徒会長を務める。

平成 26 年、国士舘大学政経学部政治学科卒業。学生時代より、各地に赴き保守、右翼運動に参加。24 歳の時、月刊 W i L L を発行する出版社に対する抗議活動で逮捕。有罪判決が下る。現在は山梨県甲府市に拠点を移し、社会奉仕活動を行なう。

第二部「最高敬語は何故必要なのか？ ～尊皇とは運動ではなく真心である～」

講師 河原博史 氏

＜経歴＞

昭和 45 年、神奈川県藤沢市生まれ。23 歳から民族運動に参加。平成 12 年に「同血社」を結成。同血社は日本共産党演説会衝突事件や、成人式会場隣接ビル屋上からのビラ散布事件、外務省ペンキ投擲事件、自民党本部ペンキ投擲事件などの果敢な行動で一躍世間の注目をあつめる。東京や神奈川の街宣、電柱などへ精力的なビラ貼りでも知られている。また、右翼民族派では、街宣車に依拠した従来の運動スタイルをいち早く見直すなど民族派運動のパイオニアでもある。国内外のメディアの取材も多数受けている。虎の尾を踏むことを怖れず、時代に対応できる運動ではなく、時代を切り開いていく運動を志している。古典や国史への造詣も非常に深い。

※質疑応答あり

日 時 令和 3 年 1 1 月 6 日（土）午後 6 時開始（受付・開場 5 時半～）

場 所 天文館ビジョンホール 4 階（定員 70 名）（鹿児島県鹿児島市東千石町 1 3 - 3）

電 話 099-822-0401（近隣にコインパーキングあり）

参加費 2 0 0 0 円

開催事務局

薩摩志士の会 担当 福沢 070-2338-0918 鹿児島市加治屋町 1 2 - 8 6 階

※席数に限りがありますので申し込みは早めをお願い致します。

講演会終了後、講師を囲んで懇親会を開催いたしますので、参加希望の方は当日お申し付けください。

【FAX 送信票】

0 9 9 - 2 1 9 - 3 0 5 6

氏名			
連絡先		同行者	名